

塩風に強いミズナラ

北海道の海岸部では、冬期間に海から吹いてくる強い塩風によって樹木が枯れてしまうのがよく見られます。私達は少しでも塩風に強く、枯れることが少ない優良系統を求めて試験を行ってきました。

その結果、道北地方の天塩川河口から北の海岸部に成育しているミズナラは、塩風によって枯れる量が少なく、沿岸の植栽に適していることが明らかになってきました。このミズナラは、他産地のミズナラに比べて芽鱗えき芽^{ガワル}の数が極めて多いことも分かりました。

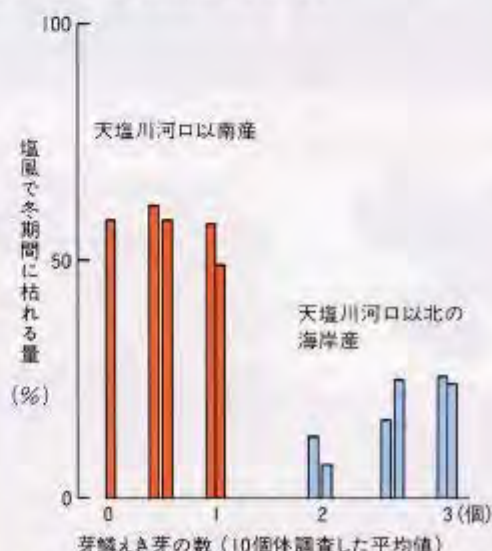
今後は芽鱗えき芽の数を手がかりとして、さらに塩風に対する抵抗力が高い系統を探す予定です。



沿岸部に樹木を植栽した場合、塩風によって地上部の大半が枯れてしまいます。



ミズナラには塩風で枯れることが少ない系統（左側）と枯れやすい系統（右側）があります。



芽鱗えき芽の数が多い系統は、塩風で枯れ下がる量が少ないことが分かりました。



ミズナラの芽鱗えき芽は枝基部に形成されます。